

## 京田辺市上下水道事業経営審議会(第6回)議事録

### 日時

令和元年11月28日(木) 午後1時30分～午後4時

### 場所

京田辺市上下水道部事務所 2階 大会議室

### 出席者

山田会長、米田副会長、大嶋委員、山中委員、赤尾委員、益田委員、太田委員、川嶋委員

(会長、副会長を除き、京田辺市上下水道事業経営審議会規程第2条に示す第1号委員から第3号委員の順、各号内で順不同)

### 欠席者

小長谷委員、杉本委員

### 事務局

伊東公営企業管理者職務代理者、大富上下水道部副部長、上杉経営管理室担当課長、村上上水道課長、竹村下水道課長、尾崎経営管理室企画経営係長

### 事務局補佐

株式会社日水コン3名

### 傍聴者

2名(報道1名、一般1名)

### 議事

#### 1 開会

#### 2 審議事項

##### (1) 京田辺市下水道ビジョン素案の作成について

審議会の公開について、会長から各委員の了承を得た後、事務局より第5回経営審議会の議事録について報告し、定足数の確認を行った。

審議を始めるにあたり、事務局から以下の内容を説明した。

- 京田辺市下水道ビジョン（概要版／素案）
- 京田辺市下水道ビジョン（素案）

### 【主な質疑】

- (委員) ビジョン（概要版）の3ページで「みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。」とあるが、この文言は必要なのか。また、耐震化の話が書かれているが、水害の時はどうなるか。どの程度の被害までトイレは使えるのか。
- (事務局) 協力をお願いする一文については、水道ビジョンと表現を合わせたものとしてご理解ください。災害の件については、本市の下水道が分流式となっており、本市が対応するのは汚水の部分です。雨水は広域下水道での対応となります。水害によって家屋が浸水してしまうとトイレも使用できません。
- (委員) ビジョン（概要版）の5ページに書かれている目標値で小数点以下の数値があるものとないものが混在している。
- (事務局) 小数点以下第1位まで表示する形で揃えます。
- (委員) 先ほどの質問に対し、1つ目については、私有地にも下水道管は埋設されており、市民のみなさまの協力が得られないと事業が進められないという意味で書かれたのだと思います。2つ目については、雨水処理も定義的には下水道の範疇ですが、京田辺市の場合はそうでない。ビジョンが対象とする業務範囲を明確にしないといけないと思います。
- (委員) 全ての資料に目を通して、文章量が多いのもっと簡潔にできないかと思います。
- (委員) 確かに簡潔にできないかとも思いますが、そもそも資料の位置づけとして、概要版で主要なことを述べ、詳しい内容は本編を見てくださいという形で2種類作成したのだと思います。
- (委員) ビジョン本編の8ページでは、2つのグラフがありますが、1つにまとめてもよいのではないのでしょうか。
- (委員) このようなグラフを見慣れている人とそうでない人、どの方をターゲットにして資料を作成するかによるのだと思います。きれいに作られていますので、他に数値目標が正しいのかという点などで疑問はないのでしょうか。
- (委員) 京田辺市の下水道は、京都府流域下水道につながっていくので、流域下水道の状況も書いた方がよいのではないかと。
- (事務局) 流域下水道については、15～16ページで処理の状況などを

整理させてもらっています。ただし、細かい内容については省略させてもらっています。

(委員) 京田辺市で人口や水量が増えることに対して、流域下水道は対応できる見通しなのでしょうか。

(事務局) 本市の計画排水量に対応できるように京都府と調整を行っており、現時点での計画分は府も織り込み済みとなっています。

(委員) 本ビジョンの対象範囲はよくわかったのですが、それであれば汚泥をどうするか、循環するものなので他人事のような感覚ではだめだと思います。そこは違和感があります。

(委員) 今の枠組みでは、京都府に希望を書くことぐらいでしょうか。

(委員) ビジョン（概要版）の5ページでスケジュールを記載していますが、何からどのようになるのかということをもう少しわかりやすく書くとよいのではないかという感想を持ちました。また、ビジョン本編の15ページには、洛南浄化センターが増設を計画していることをトピックとしてでも書いたらよいのではないのでしょうか。

(事務局) どのように表現するか京都府建設交通部水環境対策課と調整します。

(委員) 非常に見やすくまとめているが、こんな災害でも京田辺市の下水道は耐えられるということが書いてあるとよりわかりやすくなると思います。

(委員) 地震への対応は書きやすいですが、水害への対応については複雑です。京田辺市下水道を取り巻く環境についてももう少し説明を入れておくとういでしょう。ビジョンの位置づけに触れておく必要があります。

(委員) 災害や停電の時このように対応しますということ盛り込んでもらえると助かります。停電で施設が停止した事例はあるのでしょうか。

(事務局) 災害時の対応については、ビジョン本編の22～23ページで事業継続計画（BCP）について触れています。また、事例としては、23ページの飯岡地区のマンホールポンプと真空ポンプ場があります。被災してはいませんが、過去に浸水のあった地区であるため、高台に移転する事業を行っています。さらに、57ページの下段では、施設の耐震化やBCPの改定といった具体的な取り組みを記載しています。

(委員) ハザードマップでは草内地区で4mの浸水があると聞いていま

す。このような被害に対する対策は取られているのでしょうか。  
(事務局) 水道では、災害時の停電に備えて非常用発電設備の整備を進めています。下水道は分流式なので影響が少ないため、浸水の危険が高いポンプ場の電気機械設備を高台に移転する対策を行っています。

(委員) 高台に移転するのは、飯岡地区だけでよいのですか。

(事務局) ビジョン概要版の7ページに下水道の各施設が記載されています。ほとんどが傾斜地にあるので、まずは低地にある飯岡地区の施設を移転させました。

(委員) 「未来へうけつぐ故郷の水」という将来像なので、できるだけきれいにしてから流す。各家庭でできることをしないといけない。下水はトイレだけでない。シンクから流れる水についてもできることがあると思います。

(委員) 啓発活動に関する取り組みは施策に入っているのでしょうか。

(事務局) ビジョン（概要版）の2ページには、下水道が生活環境の改善や公共用水域の水質保全に寄与していることを記載しています。また、ビジョン本編の54ページでは、水洗化の啓発活動を重点施策として位置づけています。

(委員) こうでないと受け入れられないという指摘はなかったと思います。いくつか出た意見について、特に本ビジョンの対象範囲については、策定趣旨かまとめの部分でも記載していただきたい。このような形でビジョンを手直ししていくということで皆様よろしいでしょうか。

(全員) 異議なし。

(事務局) 今のご意見を反映できるようにしていきたい。手直しについては、会長に一任する形でお願いしたい。

(委員) 会長一任でよろしいでしょうか。

(委員) 会長に一任します。

(2) 京田辺市下水道事業経営戦略の作成について  
事務局から以下の内容を説明した。

- 京田辺市下水道事業経営戦略（案）

#### 【主な質疑】

(委員) 18（本当は17）ページで京田辺市の使用料は府内で一番安

いが、その理由は何なのでしょう。

- (事務局) 元々使用料を設定する際、受益者負担金も徴収する計画でしたが、議会議決されなかったため、その分を一般会計からの繰入れで補っています。
- (委員) 使用料を改定すれば、一般会計から自立することになるのでしょうか。
- (事務局) 汚水処理に対して使用料でまかなえていない部分を解消したいと考えており、汚水処理以外の部分では、これまでと同様に一般会計からの繰入れが残ります。
- (委員) 29 (本当は28) ページの課題①～⑪の説明に書いてある括弧書き内の意味がわかりません。ここには課題の改善方法を書いたらよいのでしょうか。
- (事務局) 30 (本当は29) ページの図と関連付ける内容を括弧書き内に書いています。印刷の不具合で見開きとなっていなかったの、見開きで理解してもらいやすいようにします。
- (委員) 流域下水道費の単価は据え置きですか。
- (事務局) 42 (本当は41) ページのとおり、単価は据え置きです。
- (委員) 一般会計からの繰入れ割合は、他都市と比べて多いのでしょうか、少ないのでしょうか。
- (事務局) 市町によって様々なので、一概には言えません。
- (委員) 60m<sup>3</sup>で計算したら他都市よりも割高なのではないですか。
- (事務局) どの水量区分でも割安です。前回経営審議会の資料4をご確認ください。
- (委員) 安い理由として地形的なものがあるのでしょうか。
- (事務局) 下水処理場を有していないという点があります。
- (委員) 現状では一般会計に負担をかけている。これを良しとするかどうか。課題でいうところの「財源の確保」が重要となってきます。
- (委員) 66 (本当は62) ページに民間活力の活用や下水道整備困難地区への対応として合併浄化槽のことが書かれているが、上位計画にあたるビジョンに記載があるのでしょうか。
- (事務局) 合併浄化槽についてはビジョン本編の54ページに記載しています。官民連携についてはビジョン本編の65ページに記載しています。

(3) 京田辺市水道事業経営戦略の作成について  
事務局から以下の内容を説明した。

- 京田辺市水道事業経営戦略（案）

**【主な質疑】**

- (委 員) 10ページの上から4行目に「料金回収率が100%を下回っている」とありますが、回収できないのであれば水道を止めるのではないのですか。
- (事務局) ここでの料金回収率は、水道水を作るために必要となった経費が料金収入で回収できているかを示す指標です。
- (委 員) 14ページで「自己資金」という言葉が出てきますが、自己資金はどれぐらい持っておいた方がよいのですか。
- (事務局) 熊本地震の際、熊本市では単年度に20億円の費用がかかったと聞いています。事業規模は異なりますが、それぐらいを確保しておくべきと考えています。
- (委 員) 企業債を借りない経営ということですが、企業債は世代間の負担を公平にする役割もあります。今回の戦略としては将来世代に負担をかけないという意思表示ととらえたらよいのでしょうか。
- (事務局) 現在はしていませんが、更新工事等の必要が生じたら企業債を借りることも出てくるかもしれません。ただし、過度な借入れはいけません。今のところは新規で借入れないという考えです。
- (委 員) 市民に対する大きなアピールになりますね。
- (委 員) 37ページでは平準化して負担をできる限り均等にすると書いていますが、企業債を借りてでも一気にやりきるという考え方もあるのではないですか。少し消極的に感じます。
- (委 員) 実際、人の確保等もあって年度ごとに事業費が凸凹することは難しいと思います。
- (委 員) “経営戦略”というのだから、積極的な姿勢があってもよいのではないのでしょうか。技術者を借りてきてでもできないのでしょうか。
- (事務局) 事業をするという意味では前倒しすることも考えられますが、財政の面では、一度に集中的な投資をすると、その分減価償却

費に跳ね返ってきます。

(委員) 他都市の事例ですが、経営状況が良好なため、3年ほどの暫定的な措置として料金を値下げした事業体があったのですが、そこは値下げが10年以上も続き、常態化してしまいました。値下げするのではなく、安全対策に充てたらどうかと提案したのですが、市長が値下げをよい施策ととらえておられました。

(委員) 27ページの基本方針として、“京田辺市の水がおいしい”という姿を目指すことは書けないのでしょうか。

(事務局) 本市は地下水を水源としているため、おいしい水と言えるのではないかと考えています。今以上に“おいしく”となるとコスト面でも非常に難しいです。もう少し踏み込んで書くという意味では、水安全計画を策定して、リスク対応に取り組んでおります。

(委員) 京田辺市は地下水だけでなく、京都府営水道から受水もしていますので、その水質もおいしくしなければなりません。木津浄水場への高度処理設置の要望を出されているとは聞いております。

### 3 公営企業管理者職務代理者挨拶

今後のスケジュールについて事務局から説明・調整した後、公営企業管理者職務代理者から挨拶を行った。

### 4 閉会

以上